



「コンビニ弁当の実態…そこから見えてくるのは外国人労働者なくして成り立たない現実です。弁当の製造は技能実習生が担い、店舗のレジには外国人留学生、さらに配達は時給800円のギグワーカー」…

12月初めに大分であった『国益の果ての技能実習生達』と題する講演会での話です。

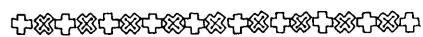
大分県が市町村からの報告を基に作った資料では、在留外国人の総合計は半年前時点で約12,500人。うち技能実習生は約3,700人、APU等の留学生が2,300人、2年前に追加された在留資格-特定技能約260人…と半数を占めています。特定技能は人手不足を補う事を目的にした通常5年以内の在留資格ですが14業種の中で建設業は在留期間の制限がありません。(特定技能2号)

では「外国人の方に日本での実習を通して高い技術を身につけてもらい、帰国後にその技術を広めてもらう」という国際技能移転・国際協力を謳い文句にした技能実習生の実態は…。12年前に由布市の縫製業カトリアか

日本の底辺を支える…技能実習生

ら中国の山東省と上海からきていた女性6名が救出された事件がありました。連日16～18時間の長時間労働、食事は10分。休日は月に1日か2日、全く無い月も。作業場と寮は暖房設備がなく寒さと睡眠不足で疲れ切っていた。社長は「中国人はバカ！帰国させるぞ！さっさと働け」と暴言。大分労基署の臨検、県労働委員会への救済申立て、駅前等での情宣などがマスコミで大きく報道され、日本人支援者達の援助で中国側の送り出し機関から「保証金70万円」の返還と「300万円の架空借金」の破棄さらに解決金も勝ち取った…という事件です。

日本側の監理団体『人材創造協同組合』の責任も問題になりました。まるで人身売買による奴隷労働。最近ではベトナムからの実習生が苦境に立たされています。



新型変異コロナに負けず、今年もポーッとしちゃいられません。さあ今日は仕事始め。本年も職員一同、力を合わせて頑張らせて頂きます。
(2022.1.5)



濱田・西馬行政事務所連絡室
(西馬行政総合事務所)
(濱田行政書士事務所)
TEL 0977-23-5463 FAX 0977-24-1806
<FAXは平日と土曜の6:30～20:00受信可能>



ご鄭重な賀状を当事務所へお出し頂いたお客様には、当『豆ニュース』をもちまして、ご返礼の書状に替えさせていただきます。誠にありがとうございました。本年も宜しくお願いいたします。